

主な取組状況と今後の予定 【県管理区間】

令和元年6月3日

最上川上流大規模氾濫時の減災対策協議会 第6回協議会

山形市、米沢市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、天童市、東根市、南陽市、山辺町、中山町、
河北町、西川町、朝日町、大江町、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
山形県、山形地方气象台、国土交通省東北地方整備局

想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の作成推進

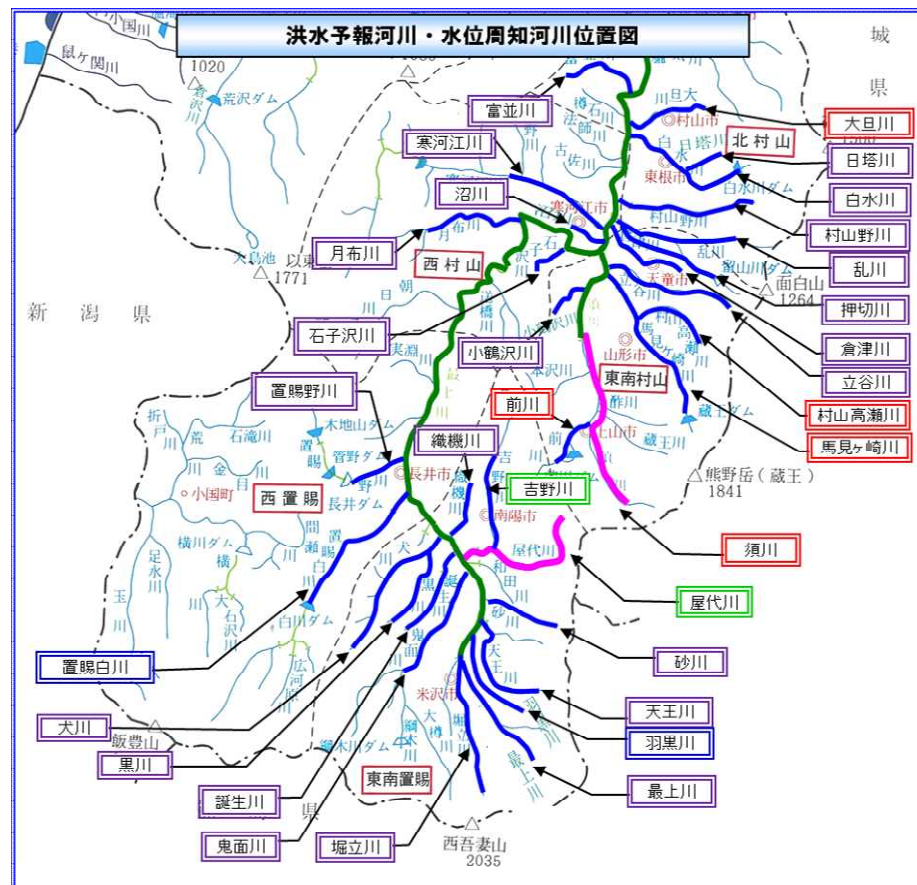
取組項目

○想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表。

具体的な取組

○最上川上流県管理河川のうち、洪水予報河川及び水位周知河川（32河川）について洪水浸水想定区域図を策定し公表する。

村山総合支庁管内	須川、石子沢川、立谷川、馬見ヶ崎川、村山高瀬川、小鶴沢川、前川、倉津川、乱川、押切川
村山総合支庁（西庁舎）管内	月布川、沼川、寒河江川
村山総合支庁（北庁舎）管内	村山野川、白水川、日塔川、大旦川、富並川
置賜総合支庁管内	屋代川、最上川、堀立川、羽黒川、天王川、砂川、鬼面川、吉野川、誕生川、織機川、犬川、黒川
置賜総合支庁（西庁舎）管内	置賜白川、置賜野川



- ※青文字河川：H29.4策定・公表済み（2河川）
- ※赤文字河川：H30.4策定・公表済み（5河川）
- ※紫文字河川：H31.3策定・公表済み（23河川）
- ※緑文字河川：R1年度内策定・公表予定（2河川）

H29.4公表
H30.4公表
H31.3公表
R1年度内公表予定

	洪水予報河川【最上川上流県管理】2河川
	水位周知河川【最上川上流県管理】30河川

タイムラインの作成推進

○洪水予報河川・水位周知河川についてタイムラインの作成を推進する。

具体的な取組

○最上川上流県管理河川のうち、洪水予報河川及び水位周知河川（32河川）についてタイムラインの作成を推進する。

- ・平成31年3月に須川（洪水予報河川）のタイムラインを作成
- ・令和元年度に残り31河川のタイムラインを作成予定
- ・参考として、危機管理型水位計のタイムラインの作成を推進

洪水を対象とした市町村の避難勧告の発令等に着目したタイムライン（案）				
時系列	気象・水象情報 (気象台・国・県)	山形県 (総合支庁)	市町村	住民等
-72h	◇大雨に関する山形県気象情報(随時)			・テレビ等による気象等の情報収集
-48h	◇大雨注意報・洪水注意報発表	【注意体制】	・水防団への注意喚起	・ハザードマップ等による避難所・避難ルートの確認
-18h	◇大雨警報・洪水警報発表	【警戒体制】	・休校の判断、体制の確認等	・防災グッズの準備
-8h	水防団待機水位到達	水防警報(準備)	第一次防災体制 水防団の待機指示	・テレビ、インターネット、携帯メール等により大雨や河川の状況を確認
-6h	はん濫注意水位到達	はん濫注意情報 水防警報(出勤)	第二次防災体制 水防団の出勤 避難所開設の準備 避難が必要な状況が夜間・早朝の場合は、避難準備情報の発令判断 巡視・水防活動状況報告	・避難の準備(要配慮者)
-4h	避難判断水位到達	はん濫注意情報	第三次防災体制 避難準備情報 要配慮者施設、大規模事業者に洪水予報伝達 災害対策本部の設置 避難所の開設	要配慮者避難開始 ・防災無線、携帯メール等による避難指示・避難勧告の受信
-2h	はん濫危険水位到達 ◇大雨特別警報発表	はん濫危険情報	第四次防災体制 避難勧告・避難指示 大雨特別警報の住民への周知	避難開始 ・自主防災会、消防団等による避難誘導
0h	堤防天端水位到達・越流	はん濫発生情報		避難完了

危機管理型水位計の設置河川の選定（当初50基分）

県では、主に下記の条件により設置箇所を選定

- ・ 既存水位計の受持ち区間の延長が長いことから既存水位計の補完が必要な河川
- ・ 役場等重要施設が近接する河川
- ・ D I D地区（市街地）等を貫流する河川
- ・ 直轄の背水対策に課題のある河川（下流の直轄区間の水位の影響を受けて水位が上昇する河川）
- ・ その他、河川管理者が水位把握が必要と判断した河川

具体的な設置箇所

- ・ 県 全 体：41河川 50箇所（このうち新規設置河川数：20河川 20箇所）
- ・ 最上川上流域：23河川 23箇所（このうち新規設置河川数：17河川 17箇所）

危機管理型水位計の設置河川

総合支庁		設置対象河川					
村山	本庁舎	新堀川	犬川	龍山川	荒町川	河原期川	摺鉢沢川
		本沢川	後明沢川	蔵王川	生居川	樽川	
	西庁舎	月布川	古佐川	法師川			
	北庁舎	富並川	大沢川				
置賜	本庁舎	羽黒川	鬼面川	黒川	大樽川	蛭川	和田川
	西庁舎	置賜野川	荒川③				
最上		最上小国川	升形川②	泉田川②	角川	中の川	
庄内		立谷沢川	相沢川	田沢川	京田川③	藤島川②	黒瀬川
		青竜寺川	大山川③	荒瀬川	庄内小国川	今野川	豊川

※青文字の河川は、既存水位計が設置されている河川
 ※河川名の後に示した数は、複数設置する河川の設置基数

◎ H30. 11. 30に設置が完了し、H31. 4. 1から本格運用開始



危機管理型水位計の設置河川の選定（追加35基分）

昨年8月に本県で発生した記録的な豪雨災害を受け、H30.9.28に市町村の設置要望について照会を行い、下記の箇所を追加設置箇所として選定

- ・ H25以降に家屋の浸水被害が発生した箇所
- ・ H25以降に浸水が発生し、「既存水位計」「設置済みの危機管理型水位計」での対応が困難であり、追加設置が必要と判断した箇所
- ・ 直轄のゲート操作や河川の整備状況等から、河川管理者として設置が必要と判断した箇所

具体的な設置箇所

- ・ 県全体：34河川 35箇所（このうち新規設置河川数：24河川 25箇所）
- ・ 最上川上流域：16河川 16箇所（このうち新規設置河川数：13河川 13箇所）

危機管理型水位計の追加設置河川

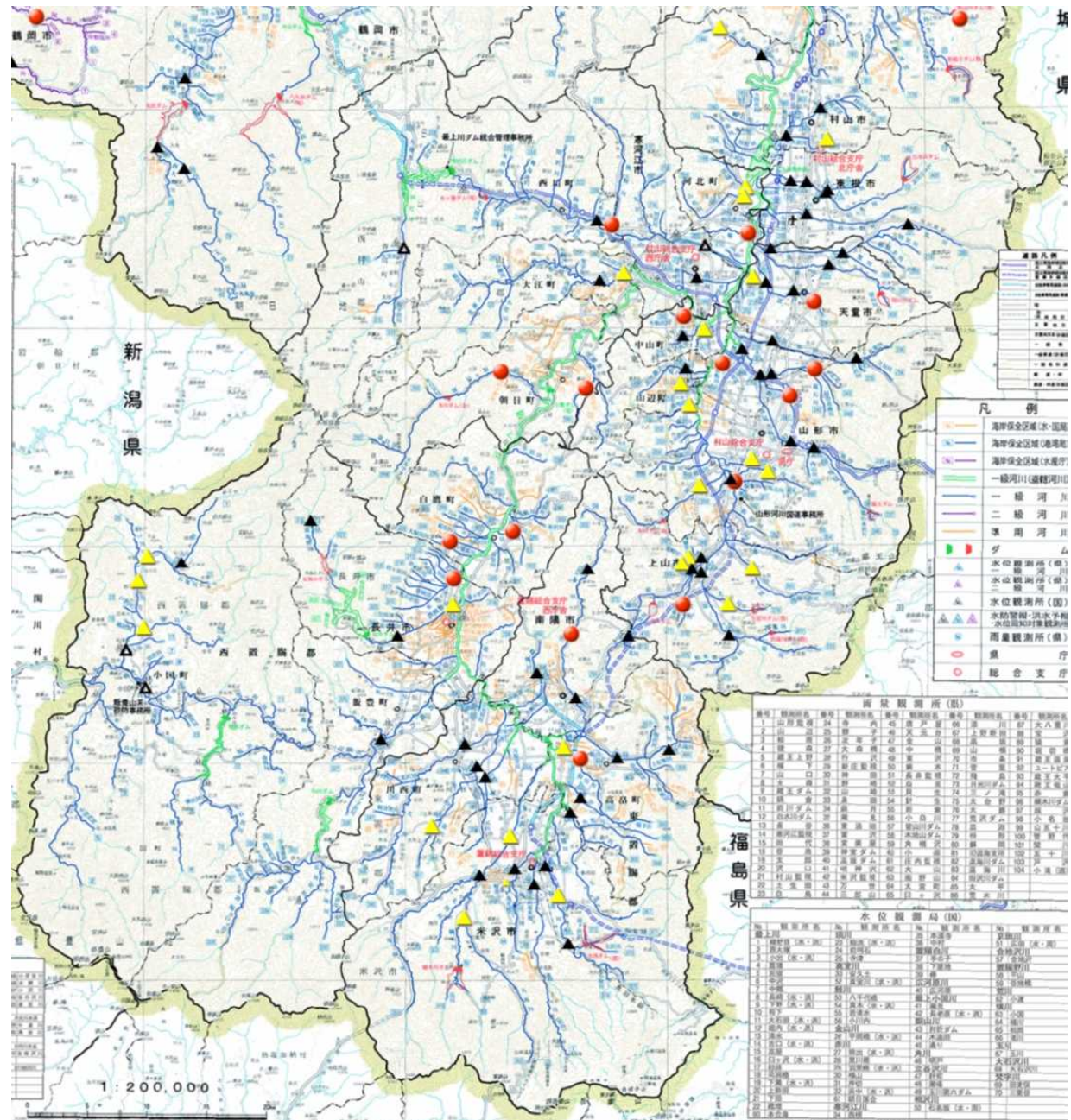
総合支庁		設置対象河川					
村山	本庁舎	逆川	村山高瀬川	坂巻川	野呂川	思川	倉津川
		不動沢川					
	西庁舎	熊野川	禎川	朝日川	送橋川		
	北庁舎	小野尻川	銀山川				
置賜	本庁舎	吉野川	和田川				
	西庁舎	田沢川	貝生川	小鮎貝川			
最上		指首野川	最上白川	絹出川	松橋川	鮭川	銅山川
		曲川②	最上内川	角間沢川	濁沢川		
庄内		内川	藤島川	五十川	庄内小国川	日向川	青竜寺川

※青文字の河川は、既存水位計の受け持ち区間内に設置する河川
 ※緑文字の河川は、当初設置分の危機管理型水位計の設置河川に追加する河川
 ※河川名の後に示した数は、複数設置する河川の設置基数

◎ H31.3.27に設置を完了し、H31.4.1から本格運用開始予定

危機管理型水位計の設置箇所位置図

- 箇所図凡例
- ▲ 県管理既設水位計
 - △ 国管理(県利用)既設水位計
 - ▲ 危機管理型水位計(当初選定50箇所)
 - 危機管理型水位計(追加選定35箇所)



危機管理型水位計の活用方法

インターネットに接続し、「河川情報センター」のサイトにアクセスすると下記の「川の水位情報」のページが表示されます。

<http://www.river.or.jp/>

River Net
水防災情報のポータルサイト

FRIC 一般財団法人 河川情報センター
Foundation Of River & Basin Integrated Communications, JAPAN

河川情報センターの主な業務 | 河川情報等へのリンク | なるほど川の豆知識 | 河川情報センターについて | その他

English >>

所在地(日本語) | Access Map(English)

Photo Gallery - 川の写真館 -

Nakagawa River in pref. Totsei

水防災オープンデータ提供サービスについて

危機管理型水位計に関連するポータルサイト

川の水位情報 (危機管理型水位計)

7月7日は「川の日」です
関連行事や川に関する情報があります

ここをクリックすると



拡大すると



次ページに続く

危機管理型水位計の活用方法

青色は監視モード
平常水位であることを示している

観測所をクリックすると

水位計

- 氾濫開始水位超過
- 危険水位超過
- 観測開始水位超過
- 平常水位
- 欠測

橙色は観測モード
観測開始水位を超過している

<休止モード> <監視モード> <観測モード>

クラウド クラウド クラウド

↑ 常時通信可能 (伝送なし) ↑ 死活報告 (1日に1回) ↑ 水位伝送 (観測毎)

↓ 休止 ↓ 監視 (10分以内に1回) ↓ 観測 (10分以内に1回)

設定水位 設定水位 設定水位

観測地点の横断面図に各設定水位が入力された横断面図が表示されます。各水位は、氾濫開始水位からのマイナス値で表示されます。

ここをクリックすると表示を変えられます

2018/12/25 09:00 堤防天端からの高さ-2.47m

凡例を非表示にする

この水位を超えると、近隣で氾濫が発生している可能性があります。

氾濫開始 0.00m

危険水位 -1.00m

観測開始 -2.10m

この水位を超えると観測を開始します。

河床の形幅は模式で、実際のものとは異なります

「危機管理型水位計」を避難行動に活用しよう

※「危機管理型水位計」とは、洪水時に特化した水位計で、一定の水位を超過した場合に観測を行う水位計です。

水位は、スマホや自宅のパソコンなどでホームページにアクセスして確認することができます。ホームページアドレス：<https://k.river.go.jp>

①ホームページにアクセスすると、日本地図が表示されます。



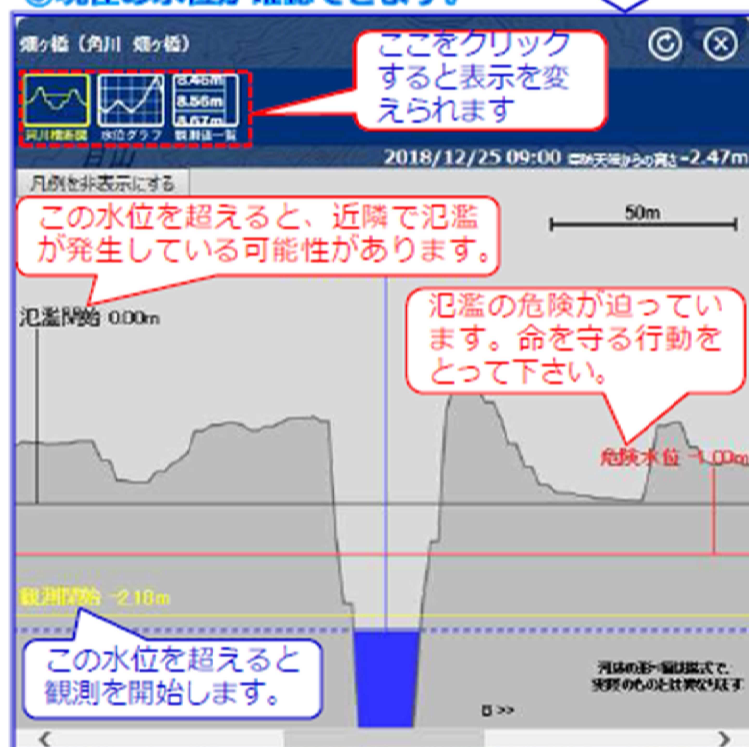
QRコードからもアクセスできます



②拡大すると水位計のマークが表示



③現在の水位が確認できます。



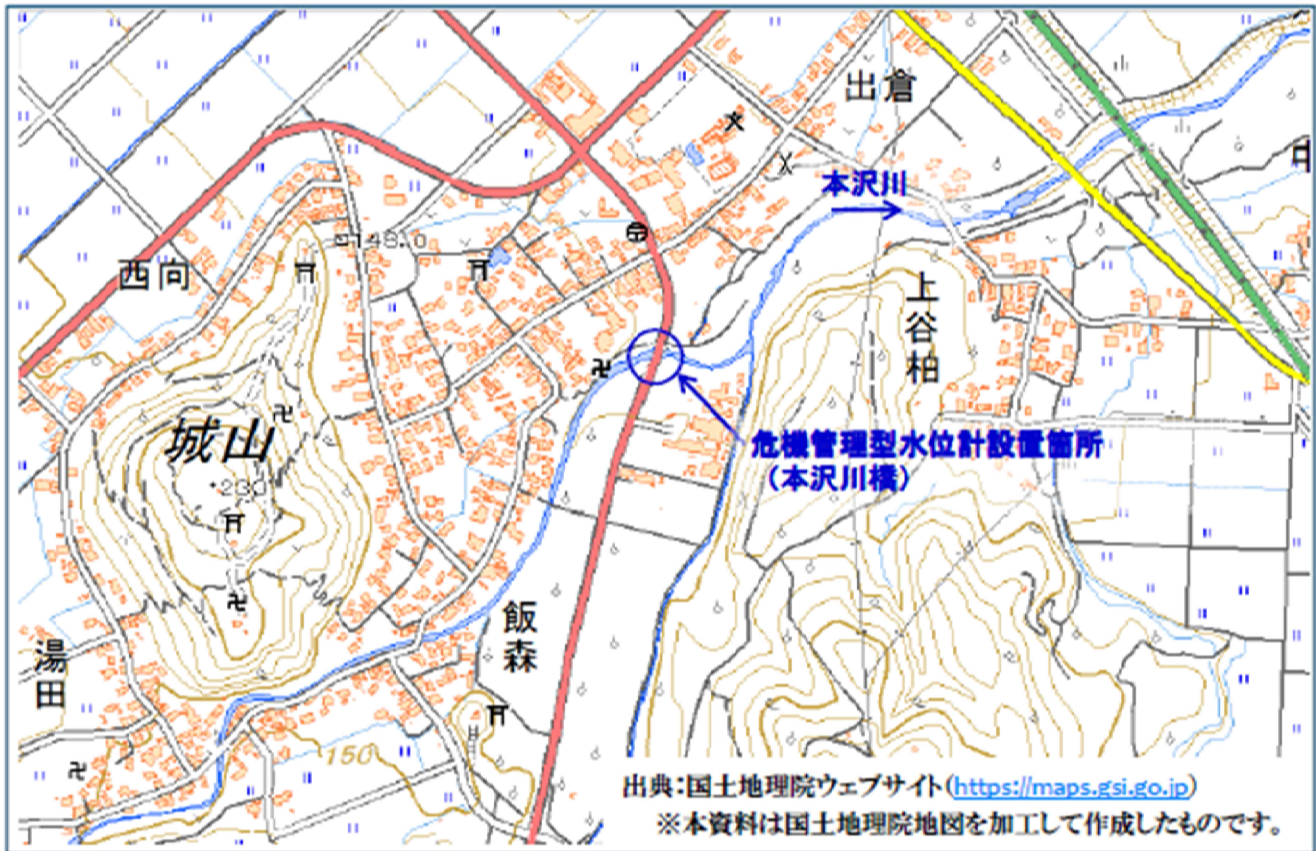
注意

危険水位 ⇒ 汎濫開始水位までは、計算上1時間程度を確保していますが、雨の降り方によっては、もっと短い時間で水位が上昇する場合があります。

※危機管理型水位計は、橋梁に設置されているため、表示される横断図を見ると汎濫まで余裕があるように見えますが、近隣の危険箇所（地盤が低い箇所等）で汎濫が開始している可能性があります。

水位計位置図

水位計名称:本沢川 本沢川橋



住民周知リーフレット(裏)

① 水位計全景



② 水位計アップ



危機管理型水位計の活用方法

○危機管理型水位計の活用

- ・ 水位計の観測水位は、市町村が避難勧告等を発令する目安として活用
 - ・ 河川の近くにお住まいの方や要配慮者利用施設の施設管理者は、避難判断の目安として活用
 - ・ R1年度末までに、山形県河川砂防情報システムでも危機管理型水位計の水位データの閲覧等ができるようにシステムの改修を予定
- ※横断図には表示されませんが、避難判断水位の目安となる水位に関する資料を、H31.1.11及びH31年4月25日付けの事務連絡により各市町に送付しています。
- ※現在設定されている水位は、近隣河川の観測データ等を基に設定した水位であり、今後、洪水時の観測データを蓄積し、水位の見直しを行います。

不明な点等は、下記まで問い合わせ願います。

山形県県土整備部河川課 河川管理担当
電話：023-630-2619
E-mail：ykasen@pref.yamagata.jp

県管理河川におけるホットラインの実施状況（H30）

○H29年4月より県管理河川（洪水予報河川6河川、水位周知河川64河川）においてホットラインを開始

山形県のホットライン



各管内のホットライン実施回数

